

審査講評 2024 日本ストックホルム青少年水大賞審査部会 部会長 清水 芳久

「日本ストックホルム青少年水大賞」は、20歳以下の高校・高等専門学校の生徒または生徒の団体による水環境に関する調査研究活動および調査研究にもとづいた実践的活動を表彰するもので、その受賞者は毎年夏にストックホルムで開催される国際コンテスト「ストックホルム青少年水大賞 (SJWP)」に日本代表として参加することになります。

応募状況と審査経緯

2024日本ストックホルム青少年水大賞の応募数は14件ありました。審査は、8人の審査委員からなる日本ストックホルム水大賞審査部会において、審査基準に準じて厳正に行われました。この審査基準は、妥当性（水環境がかかえる重要な問題に的確に取り組んでいるか）、創造性（問題提起や問題解決の方法、実験・調査やデータ解析の方法に創造性が見られるか）、方法論（明確な問題意識のもと作業計画が適切か）、テーマに関する知識（既往研究のレビュー、参考文献、情報源、用語の理解などが十分か）、実用技術、報告書の6項目からなります。

審査は2段階で行いました。まず、各審査委員が行った書面審査の結果を持ち寄って対面およびWEBで審議し、二次審査に進む4チームを選びました。次にこの4チームについて東京都内で、英語による要旨発表、そして研究内容のパワーポイントを用いたプレゼンテーションを聴取したうえで、個別に質疑を行うとともに、審査委員による慎重な協議を経て「日本ストックホルム青少年水大賞」の授賞校を選定しました。

審査結果と授賞理由**○大 賞：青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS**

「2024日本ストックホルム青少年水大賞」に輝いたのは、青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS（代表：赤石 紫音、白鳥 滉弥 指導教員：木村 亨）「水を有効利用する節水型ミスト栽培システムの開発」です。

気候変動や人口増加による水不足が危ぶまれている現在、貴重な水を有効利用する新しい農業技術が求められています。青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERSは、超音波発生装置を使ってミスト状の水を一日数回だけ根に散布する栽培方法を開発しました。この方法では、密閉容器を使用するため、根に吸収されなかった水分はすべて再利用されることから水耕栽培よりも少ない水量での栽培が可能です。また、省エネルギーであるため気候変動対策にも貢献できること方法であることも評価されました。

この方法は、先進国や途上国を問わず、広く世界で活用できる新発想の栽培法と言えます。今後は宇宙開発にも大いに貢献できる可能性を有しています。